

古典的ケース CASE 5.

B. M 夫人、50 才。

食欲不振と胃と腸に大量のガスが溜まる深刻な消化不良を訴えてきた。

ヒステリックで、あまり眠れず、生きていくことに関心がないという。

これまでの彼女はいつも健康で、神経質な気質ではなかった。

抑圧された悲しみに耐えていた。

2、3 年前に夫が木から落ちて、背骨を折った。

いろいろな治療をし、手術も 2、3 回したが、よくなることはなかった。

夫が相当苦しんで亡くなった 2、3 ヶ月後に彼女は私の所へやって来た。

最初、さまざまな神経のレメディを与えたが、飲んでいる間は効くが、持続しなかった。

ようやく Rx だとわかって、Rx30x 1 個を 1 日 4 回投与した。

約 10 日か 2 週間して、再診にやって来たとき、あらゆる点で違う人になったような気がすると言った。

もっと陽気になり、夜もよく眠れるようになった。

食欲も旺盛になり、食べたいものは何でも食べられるようになった。

心配事もない。そして治癒は持続的だった。